「香北の自然公園」の絵はがき受賞者発表！

１２月１５日まで募集した「香北の自然公園」の絵はがきへの一般投票の結果を発表します。

入賞した作品は、今後の「香北の自然公園」のＰＲに活用させていただきます。すばらしい作品を応募していただき、ありがとうございました。

〇優秀賞（kamica 3,000ポイントと特産品2,000円分）
前田由貴奈さん（香南市）、清水仁美さん（香美市）

〇特別賞（kamica 2,000ポイントと特産品1,000円分）
前田尚俊さん（香南市）、黒岩絵里さん（香美市）、清水由里さん（香美市）

▲一般投票受付の様子

地域文化功労者表彰

１１月１６日に、京都市で「令和５年度地域文化功労者表彰」が開催され、香美市からは、物部いざなぎ流神楽保存会が表彰されました。

この表彰は、全国各地で芸術文化の振興や文化財の保護などについて功績のあった個人や団体に対して文部科学大臣から贈られるものです。

物部いざなぎ流神楽保存会は長年にわたり、文化的価値のあるいざなぎ流神楽の保存に尽力し、伝承文化として後世に残していく活動を行ってきました。各地の行事では、舞神楽を披露し、多くの方に関心を持ってもらっています。保存会はこの表彰を励みに、さらなる継承と地域貢献のために活動を行っていきたいとのことです。

▲保存会副会長 半田敏張さん（写真前列左）と会長 佐竹美保さん（前列右）

山田特別支援学校 寄宿舎 音楽鑑賞会

１月１６日、山田特別支援学校の寄宿舎に土佐山田町合唱団より１５名の方が招かれ、音楽鑑賞会が開催されました。

鑑賞会では合唱団が童謡や「愛の花」、アンコール曲など合わせて６曲を披露しました。ピアノの演奏とともに届く歌声が生徒の心に響き、また、指揮者を体験したり、合唱団と一緒に歌ったりとてても盛り上がりました。

生徒からは「楽しかった」「心に響いた」などの感想があり、音楽を通して合唱団と地域がつながり、一体感に包まれた鑑賞会でした。

香美市公式 LINEアカウントをご利用ください！

●市からのお知らせ
●ごみ出し通知機能
●AIチャットボット機能
※AIチャットボットとは、皆さんからのご質問に対し、AIの機能を用いて回答を自動的に提示するサービスです。
※機能の追加・改善については、随時、行なっていきます。

ID：@kami.city

「ID検索」または下の二次元コードから友だち追加♪

【問い合わせ先】総務課 ☎53−3112

全国都道府県対抗中学バレーボール大会

１２月２５日～２８日にかけて大阪府で行われた「第３７回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」女子の部に、鏡野中学校３年の門田侑乃さんと山﨑玲奈さんが、高知県代表チームのメンバーとして出場しました。

結果は県として初のベスト８という成績で、香美市から出場した２人も、大いに奮闘しました。

▲門田侑乃さん（写真前列左）と山﨑玲奈さん（前列右）

積丹町交流事業

１月１１日～１４日にかけて、北海道積丹町から小学生８名が香美市を訪れました。新型コロナウイルスの影響で、お互いの地域を訪問する機会が途絶えていましたが、今回、約４年ぶりに交流を行いました。

大栃小学校では、園児や中学生も参加し、キッズソーランの披露や物部伝統の踊りを一緒に踊りました。また、学校・地域の紹介には、香長小学校と片地小学校もオンラインで参加しました。

また、物部町神池地区では、スタンプラリーで地区の良いところを目で見て発見したり、地域の方々の協力を得て、大栃小の児童と一緒に伝統菓子「きりこもち」を作って食べたりしました。

他にも、やなせたかし記念館の訪問や龍河洞探検、ほっと平山での絵付け体験、大栃小・中学校生宅へのホームステイなど、香美市でたくさんの思い出を作った交流となりました。

人権の大切さを考えよう

１１月２３日に、中央公民館で「香美市じんけんフェスティバル」が開催されました。この催しは、１２月４日～１０日の人権週間に先がけ、人権の大切さを考えることを目的に毎年開催されています。

当日は、小中学生の人権ポスター・毛筆・標語の表彰式や人権の花の贈呈式、お笑いタレントのスマイリーキクチさんをお招きしての講演会が行われました。

土佐塩の道 整備体験イベント

１月２０日に、物部町で土佐塩の道保存会による塩の道の整備体験イベントが実施され、約５０名の方が参加しました。

香美市物部町と香南市赤岡町を結ぶ古道「塩の道」は、地元保存会員らによって、平成１４年にウォーキング道として再生されました。さまざまな取り組みでファンが増え、山間地域の活性化にも貢献しています。一方で、保存会員の高齢化などもあり、コース整備などの作業への負担が年々増していることが課題となっています。

今回のイベントは、「道」を未来に繋ぐための協力者を募る目的で開催され、参加者は物部森林組合による塩の道沿道の山林の状況説明を聞き、道の整備作業を体験しました。

塩の道は、地域内外の多くの方に支えられていますので、保存会はこれからも、新たな体制づくりと山間地域の持続を目指して活動していきたいとのことです。